

桐生繊維業界の実態

平成31年1月～令和元年12月

桐生市繊維振興協会

桐生繊維業界の概要

※ 桐生市繊維振興協会の加盟団体を対象に、平成31年1月～令和元年12月までの業界実態を調査し、作成しました。（なお、桐生商工会議所 繊維部会、桐生織伝統工芸士会、有限責任事業組合 起龍については、組合員重複により調査対象外としております。）
また、加盟団体の退会等により調査対象に変更が生じる為、前年対比は参考数字とさせて頂く事を予めご了承下さい。

1. 調査対象団体数	10 団体		
2. 産地収入			
(1) 生産高	57 億 3,605 万円		
(2) 加工高	14 億 5,697 万円		
(3) 販売高	57 億 3,119 万円		
計	129 億 2,421 万円		
退会団体の収入（推定：前年対比97%）	15 億 3,338 万円		
計	144 億 5,759 万円	(前年対比 97%)	
3. 組合員数（事業所数）	193 事業所		
4. 総従業員数（家族従業員含む）	1,303 人		
5. 一事業所当たり従業員数	7 人		
6. 一事業所当たり生産加工販売高	6,696 万円		
7. 年度別産地収入高			
平成11年 産地収入	473 億 6,503 万円	(前年対比 90%)	
平成12年 産地収入	444 億 7,222 万円	(前年対比 94%)	
平成13年 産地収入	416 億 8,724 万円	(前年対比 94%)	
平成14年 産地収入	376 億 2,047 万円	(前年対比 90%)	
平成15年 産地収入	346 億 0,005 万円	(前年対比 92%)	
平成16年 産地収入	453 億 8,571 万円	(前年対比131%)	
平成17年 産地収入	436 億 5,236 万円	(前年対比 96%)	
平成18年 産地収入	397 億 4,442 万円	(前年対比 91%)	
平成19年 産地収入	375 億 4,078 万円	(前年対比 94%)	
平成20年 産地収入	318 億 2,356 万円	(前年対比 85%)	
平成21年 産地収入	287 億 2,461 万円	(前年対比 90%)	
平成22年 産地収入	257 億 4,424 万円	(前年対比 90%)	
平成23年 産地収入	258 億 0,221 万円	(前年対比100%)	
平成24年 産地収入	257 億 5,924 万円	(前年対比100%)	
平成25年 産地収入	261 億 8,835 万円	(前年対比102%)	
平成26年 産地収入	254 億 1,823 万円	(前年対比 97%)	
平成27年 産地収入	218 億 6,296 万円	(前年対比 86%)	
平成28年 産地収入	166 億 0,011 万円	(前年対比 76%)	
平成29年 産地収入	154 億 2,194 万円	(前年対比 93%)	
平成30年 産地収入	149 億 3,836 万円	(前年対比 97%)	

1. 組合員数及び従業員数

団体名		組合員数 (事業所数)	従業員数					従業員 平均年齢 (歳)
			雇用従業員 (人)		家族従業員 (人)		計 (人)	
桐生織物協同組合	広幅協議会	46	89	82	56	48	275	55
	内地協議会	45	60	72	53	46	231	59
桐生染色組合		10	83	49	4	4	140	56
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		12	30	96	5	7	138	50
桐生糸商組合		7	19	8	1	6	34	47
桐生刺繍商工業協同組合		42	70	108	63	65	306	57
東日本編レース工業組合		4	40	25	3	2	70	50
桐生紋紙組合		9	2	0	4	2	8	68
東毛ジャカード刺繍協同組合		6	3	6	6	6	21	60
桐生織物商友会		7	12	19	1	7	39	54
桐生テキスタイル商業グループ		5	22	14	1	4	41	52
合計		193	430	479	197	197	1,303	

注

- (1) 平成 7 年 1 月 13 日 群馬県綿スフ織物工業組合 解散し退会。
- (2) 平成 7 年 5 月 17 日 桐生織伝統工芸士会 入会。
- (3) 平成 10 年 3 月 31 日 両毛輸出織物整染工業組合 解散し退会。
平成 10 年 3 月 31 日 両毛輸出スカーフ組合 解散し退会。
平成 10 年 3 月 31 日 桐生織物商業組合 解散し退会。
- (4) 平成 10 年 4 月 1 日 桐生和服裁縫組合 入会。
- (5) 平成 11 年 3 月 31 日 桐生金銀糸協同組合 解散し退会。
- (6) 平成 12 年 3 月 31 日 桐生撚糸工業組合 解散し退会。
- (7) 平成 13 年 3 月 31 日 桐生織物整経協同組合 解散し退会。
- (8) 平成 18 年 11 月 28 日 有限責任事業組合 起龍 入会。
- (9) 平成 21 年 3 月 31 日 桐生和服裁縫組合 退会。
- (10) 平成 28 年 3 月 30 日 桐生意匠組合 退会。
- (11) 平成 31 年 3 月 31 日 桐生織物産地元売組合 退会。

2. 生産、加工高及び取引先区分（工業部門）

団体名		生産高 (万円)	加工高 (万円)	計 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分（%）	
						県内	県外
桐生織物協同組合	広幅協議会	241,155	13,696	254,851	97	0	100
	内地協議会	74,324	-	74,324	88	0	100
桐生染色組合		-	34,000	34,000	97	30	70
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		73,716	54,203	127,919	108	10	90
桐生刺繍商工業協同組合		26,690	43,150	69,840	93	40	60
東日本編レース工業組合		144,800	-	144,800	97	9	91
桐生紋紙組合		3,240	-	3,240	100	85	15
東毛ジャカード刺繍協同組合		9,680	648	10,328	93	2	98
合 計		573,605	145,697	719,302	96	9	91

3. 販売高及び取引先区分（商業部門）

団体名	販売高 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分（%）	
			県内	県外
桐生糸商組合	325,000	100	70	30
桐生織物商友会	125,000	112	15	85
桐生テキスタイル商業グループ	123,119	96	1	99
合 計	573,119	101	43	57

4. 内需向、輸出向区分

団体名		内需向		輸出向		計 (万円)
		金額 (万円)	割合 (%)	金額 (万円)	割合 (%)	
桐生織物協同組合	広幅協議会	234,578	92	20,273	8	254,851
	内地協議会	74,324	100	-	-	74,324
桐生染色組合		34,000	100	-	-	34,000
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		124,319	97	3,600	3	127,919
桐生糸商組合		292,500	90	32,500	10	325,000
桐生刺繍商工業協同組合		69,840	100	-	-	69,840
東日本編レース工業組合		144,410	99.7	390	0.3	144,800
桐生紋紙組合		3,240	100	-	-	3,240
東毛ジャカード刺繍協同組合		10,328	100	-	-	10,328
桐生織物商友会		125,000	100	-	-	125,000
桐生テキスタイル商業グループ		110,807	90	12,312	10	123,119
合計		1,223,346	95	69,075	5	1,292,421

5. 各団体の取扱品目

団体名		品 目				
		割 合 (%)				
桐生織物協同組合	広幅協議会	服地	インテリア・ 資材	ネクタイ	その他	
		78	5	13	4	
	内地協議会	帯地	広幅生地	服飾品	着尺	
		53	28	12	7	
桐生染色組合		合織	レーヨン・アセート	絹	綿・ウール	
		75	10	5	10	
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		ブラウス	ニット・ カットソー	ワンピース	スカート	その他
		17	25	4	7	47
桐生糸商組合		ポリエステル	アクリル	レーヨン	ナイロン	絹・綿・その他
		40	20	5	15	20
桐生刺繍商工業協同組合		婚礼衣裳	婚礼加工	ブラウス・ニット加工	ハンカチーフ加工	雑貨
		13	13	22	10	42
東日本編レース工業組合		インテリア	産業資材	衣料		
		61	23	16		
桐生紋紙組合		エンドレス ペーパー	フロッピー	紋紙		
		30	55	15		
東毛ジャカード刺繍協同組合		ワッペン	Tシャツ	ワッペン・イント刺繍	その他の布帛	プリント加工
		79	3	13	4	1
桐生織物商友会		二次製品	和装小物	帯	着尺	その他
		80	5	5	2	8
桐生テキスタイル商業グループ		服地	ニット	その他		
		65	34	1		

6. 生産加工部門の現有設備状況

団体名		設備名	数量（台）
桐生織物協同組合	広幅協議会	普通織機	61
		自動織機（片レピア含）	142
		超自動織機（レピア）	343
		計	546
	内地協議会	広幅織機	6
		並幅織機	310
		小幅織機	42
		自動・レピア織機	40
		計	398
桐生染色組合	常圧噴射式染色機		50
	高圧噴射式染色機		5
	汎用染色機		5
	チーズ染色機		30
	高圧液流染色機		18
	計		108
桐生ものづくり協同組合 （旧 桐生繊維製品協同組合）	ミシン（特殊含）		145
	プレス		30
	裁断機		12
	その他		46
	計		233
桐生刺繍商工業協同組合	横振ミシン		40
	多頭式ミシン		350
	計		390
東日本編レース工業組合	ラッセル機		99
	計		99
桐生紋紙組合	デザインシステム		14
	横彫カード・エンドレス		8
	カードパンチ		7
	ワンパンチ		2
	計		31
東毛ジャカード刺繍協同組合	コンピューターミシン		12
	プレス		2
	本縫いミシン及びその他の機械		12
	パンチング製版機及びプリント機		3
	計		29

7. 最近の推移（令和元年10月～2年2月）

団体名		受注・引合の状況				販売（加工）単価の状況			
		増	変らず	下降	前年対比 (%)	増	変らず	下降	前年対比 (%)
桐生織物協同組合	広幅協議会		○		98		○		98
	内地協議会			○	95			○	95
桐生染色組合				○	95		○		100
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		○			105	○			101
桐生糸商組合				○	95			○	98
桐生刺繍商工業協同組合				○	93			○	93
東日本編レース工業組合				○	97		○		100
桐生紋紙組合			○		100		○		100
東毛ジャカード刺繍協同組合				○	92		○		100
桐生織物商友会		○			112		○		100
桐生テキスタイル商業グループ				○	96		○		100
合計		2	2	7		1	7	3	

8. 商品 消費者ニーズの変化について、平成31年1月～令和元年12月の状況、事業概要、今後の課題

桐生織物協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 洋装部門の国内向けニーズは横ばいであるが小ロット化が進んでいる。
輸出においては、中国向けの受注減少が目立つ。
- ・ 和装部門については、取引先の廃業があり、商品の動きも悪く価格も下降傾向。売上減少が踏みとどまっている商品もあるが、レンタル関連の商品はポリエステルなどの入れ替えが少ないため、受注も少ない。OEMはロットが少なくても対応が出来ないと注文がない。
季節に合わせた色使いをした商品など、新しい提案が好まれている。

平成31年1月～令和元年12月の状況、事業概要

- ・ 洋装部門として、東京で10月に桐生テキスタイルコレクション 2020AWを開催。
また、JFW ジャパンクリエイションへの出展をした。
輸出向けとして、7月にミラノで開催されたミラノウニカに出展をした。
地域団体商標「桐生織」の海外展開事業を実施し、デザイナーとの協業や海外向けWEBサイト作成などを行った。
- ・ 和装部門については、生活スタイルの変化による和装離れと、流通の弱体化による影響は依然として大きく、さらに、ここ数年続いている台風などの自然災害の影響により商品の動きが少なかった。
この状況に対応するため、歴史ある産地で信頼のもてるメーカーを市場にアピールすることを目的に、新製品の開発事業や東京・京都等の集散地で開催する販路の開拓事業や消費者に直結する展示会、販売会への参加など積極的に展開した。

今後の課題

- ・ 洋装部門として、独自性のある付加価値の高い織物の開発を継続していくとともに、産地の特色を活かしたプロモーションをしていくことが重要だと考えられる。
- ・ 和装部門については、以前から問題となっている和装離れの歯止めや、消費者の業界に対する不信感の払拭のためのモラルの確立や商習慣の改善など、産地和装製品の消費拡大に対する懸念は増加するばかりで、さらに、織機等の部品の枯渇問題や関連工程の技術者不足など課題は多い。

桐生染色組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 織物用、レースカーテン用、衣料用レース等全体的に不調。
- ・ 全体的に小ロット、少量生産が多くなり、経営は悪化。

平成31年1月～令和元年12月の状況、事業概要

- ・ 元年10月以降、糸染の受注は減っている。
- ・ 布染関係は、ほぼ前年同様で推移している。

今後の課題

- ・ 染料生産国(中国)の関係で分散、反応、酸性染料の価格の大幅なアップ。
- ・ 高堅牢度染料の入手難など染色を取りまく環境は厳しい。
- ・ 地元の繊維工業試験場と協同で新規の加工等を事業化していくことが必要。

桐生ものづくり協同組合（旧 桐生繊維製品協同組合）

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 消費ニーズは、地域性や機能性などのある付加価値商品にあり、オンリーワンの商品も注目を集めている。

平成31年1月～令和元年12月の状況、事業概要

- ・ 当組合の外国人技能実習生事業は、予定よりは伸び悩んだものの、経理面の伸びが顕著であった。今後は、事務局の体制を強化しつつ、実習生事業以外にも事業を拡げていきたい。

今後の課題

- ・ 人口減少や高齢化社会の中、繊維業界全体が縮小しているのは間違いない。ただ新しい取り組みなどを続けてきた企業などでは、その取り組みが数字となり売り上げを伸ばす企業も多く見られる。このような取り組みを地域一丸となり更に進めていきたい。

桐生糸商組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 百貨店、専門店、大手スーパーといった売り場は、どんどん淘汰されつつあり、一部の通販のみが売り上げを伸ばしている様だ。設置店舗型への納入だけでは売り上げが減少し続けている。

平成31年1月～令和元年12月の状況、事業概要

- ・ 桐生を中心として、両毛地区全体の生地メーカーの落ち込みは、一部を除き歯止めが効かなくなっている様だ。只、特殊資材を扱っているメーカーのみが、安定的に受注を受けている。

今後の課題

- ・ 原糸の価格も、昨年は安定して供給されていた。今後も、円為替の動向にもよるが、安定した価格で推移すると思う。その中で、高技術で製作したものをいかに生み出せるかを研究して行く事が大切であると考え。

桐生刺繍商工業協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 消費者ニーズの多様化による小ロット生産があいかわらず主体となっている。また、低価格、短サイクルが求められている。

平成31年1月～令和元年12月の状況、事業概要

- ・ 受注が下がりました。
原料、運賃等の高騰など苦戦しています。

今後の課題

- ・ 技術者の高齢化による人材の確保(横振など得に！若者をいかにしてとり入れるか)組合として可能な限りものづくり文化が育んで、品々で個々の企業の技術、得意分野を磨き続けることにより、桐生刺繍の素晴らしさを全国に、そして世界に発信していきたい。

東日本編レース工業組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 高級品と低価格品の二極化が見られていたが、現状のコロナ禍で消費行動がどのように変化していくのか見透かせない。

平成31年1月～令和元年12月の状況、事業概要

- ・ 昨年1年は変わらずの状態推移していた。

今後の課題

- ・ 衣料品は、消費増税今回のコロナ禍により非常に厳しい状況が予想され、インテリア産業資材はいつごろその影響が出てくるのか予断を許さないところである。
- ・ 消費税アップ後も小売価格は上がらないことが予想され、そのシワ寄せが我々生産者に来ないよう一層の商品開発が必要である。

桐生織物商友会

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 多品種・小ロット・短サイクルに、いかに対応すべきかを常に試行し、ニッチな商品開発に努めなければ、ニーズに対応できないと思います。

平成31年1月～令和元年12月の状況、事業概要

- ・ 消費増税・自然災害・新型ウィルス等、立て続けのマイナス要因の為、市況はさらに厳しいと思われます。

今後の課題

- ・ 上記で回答した通り、消費者ニーズに答えるべく業務を推進していくとともに、産地を守る為の強固な施策が必要と思われます。

桐生テキスタイル商業グループ

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 昨年度あたりから洋服のサブスクリプションが生まれたが、あまり浸透しなかった。
- ・ 個性的なブランドですら需要が減り始めている。無駄なもの、目立たないものが好まれ洋服で冒険しなくなった。
- ・ デパートがますます売れなくなっている。
- ・ ネット販売に強みを持つブランドが伸びている。

平成31年1月～令和元年12月の状況、事業概要

- ・ 昨年のはじめは、熊本地震発生、北海道、宮崎、山形沖、福島沖で地震があり8月以降は、九州豪雨、台風15号19号による水害に見舞われた。これに呼応するかのように10月の消費税アップによりファッション消費マインドは、大きく低下した。11月からの暖冬の影響でコートなどの重衣料も不振にあえいでいた。これに伴い桐生で生産される高級ゾーンの服地を使った洋服の生産が抑えられてしまった。

今後の課題

- ・ ネットでのプライスが、リアル店舗のプライスに影響し始めている。
- ・ 就業者の年齢が上がり休業、廃業が増え生産の技術がなくなりつつある。
- ・ ドビー織の引っ込み工程の業者が減っていることが言われて久しいが改善の見通しが立っていない。
- ・ 合繊、紡績メーカーで在庫をする糸の種類が少なくなり、再生産できないテキスタイルが増えてきた。
- ・ 業界全体の就業人数が減りつつあり、川上の業種に就業する人も減ってきている。

以 上

桐生市繊維振興協会 加盟団体名簿

(順不同)

団体名	代表者名	所在地	電話 (0277)
桐生織物協同組合	牛 腸 章	桐生市永楽町5-1	43-2511
桐生染色組合	塚 本 幸 司	桐生市堤町1-7-9 塚本染色(名)内	22-7771
桐生商工会議所 繊維部会	柳 明 彦	桐生市錦町3-1-25	45-1201
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)	岡 部 利 明	桐生市永楽町6-6	46-8118
桐生糸商組合	川 村 隆	桐生市仲町3-15-6 川村(株)内	44-4171
桐生刺繍商工業協同組合	村 田 欽 也	桐生市永楽町6-6	22-7919
東日本編レース工業組合	黒 澤 昇	桐生市永楽町6-6	22-3847
桐生紋紙組合	高 松 靖 郎	桐生市宮前町1-6-60 (有)高松紋切所 内	22-4380
東毛ジャカード刺繍協同組合	西 村 千 春	桐生市新宿3-7-34	43-1166
桐生織物商友会	和 田 貞 之	桐生市川内町1-98-5 (株)ワダミツ 内	65-6188
桐生テキスタイル商業グループ	篠 田 一	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
桐生織伝統工芸士会	後 藤 誠 三	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
有限責任事業組合 起龍	丸 山 裕	みどり市笠懸町阿左美1118 (株)大桐 内	32-5573

事務局 公益財団法人桐生地域地場産業振興センター 内

〒376-0024 桐生市織姫町2-5

電 話 (0277) 46-1011

FAX (0277) 40-1300